

イコタイド錠200mg

【この薬は？】

販売名	イコタイド錠200mg ICOTYDE Tablets 200mg
一般名	イコトロキンラ塩酸塩 Icotrokinra Hydrochloride
含有量 (1錠中)	イコトロキンラとして200mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、インターロイキン（IL）-23受容体拮抗薬と呼ばれる薬です。
- ・この薬は、IL-23受容体に結合してIL-23とIL-23受容体の結合を阻害し、IL-23受容体からの信号伝達および炎症のもととなるサイトカインの産生を抑えることにより、症状を改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。

既存治療で効果不十分な下記疾患

尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症

以下のいずれかを満たす場合に使用されます。

- ・光線療法を含む既存の全身療法（分子標的薬を除く）で十分な効果が得られず、皮疹が体表面積の10%以上に及ぶ場合。
- ・難治性の皮疹または膿疱を有する場合。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○患者さんは以下の点について十分理解できるまで説明を受けてください。理解したことが確認されてから使用が開始されます。

- ・この薬を使用することにより、結核、ウイルス、細菌などによる重篤な感染症が発症したり悪化したりすることがあります。この薬を使用して感染症の症状（かぜのような症状、体がだるい、発熱など）があらわれた場合にはただちに担当医に連絡してください。【この薬の使用中に気を付けなければならないことは？】

および**副作用は？**に書かれていることに特に注意してください。

- ・この薬との関連性は明らかではありませんが、悪性腫瘍の発現も報告されています。
- ・この薬は病気を完治させるものではありません。

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・重篤な感染症の人
- ・活動性結核（治療が必要な結核）の人
- ・過去にイコタイド錠に含まれる成分で過敏症のあった人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・感染症の人または感染症が疑われる人
- ・過去に結核にかかったことがある人または結核感染が疑われる人
- ・腎臓に中等度以上の障害がある人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬を使用する前に、結核の感染の有無を確認するために、問診、胸部X線（レントゲン）検査、インターフェロナーγ（ガンマ）遊離試験またはツベルクリン反応検査、場合によっては胸部CT検査などが行われます。必要に応じて、この薬の使用を開始する前に結核の薬を使用することがあります。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人および12歳以上かつ体重40kg以上の小児の飲む量および回数は、次のとおりです。

一回量	1錠
飲む回数	1日1回、朝起きたとき（食事の前）

- ・この薬は、通常、服用開始から16週以内に効果が得られますが、16週服用しても効果が得られない場合は、この薬の治療方法の継続の適否について検討されます。

●どのように飲むか？

- ・起床時に空腹の状態でコップ1杯程度の水で飲んでください。水以外の飲み物で飲まないでください。薬の吸収が悪くなる可能性があります。
- ・薬を飲んでから少なくとも30分間は水以外の飲食を避けてください。カロリーのある飲料（牛乳、糖分を含む清涼飲料水など）も飲まないでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。翌日以降は、通常通りに飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の使用により、感染症にかかりやすくなる場合があります。感染症の徴候や症状（かぜのような症状、体がだるい、発熱など）があらわれた場合には、速やかに担当医に連絡してください。
- ・この薬を使用している間は結核の感染に注意するため、定期的に胸部X線検査などの検査が行われます。結核が疑われるような症状（持続する咳、体重減少、発熱など）があらわれた場合には、速やかに担当医に連絡してください。
- ・この薬を使用している間は生ワクチン〔BCG、麻疹（はしか）、風疹（ふうしん）、麻疹・風疹混合（MR）、水痘（みずぼうそう）、おたふく風邪など〕の接種はできません。接種の必要がある場合には医師に相談してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

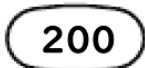
特にご注意いただきたい重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
重篤な感染症 じゅうとくなかんせんしょう	発熱、寒気、体がだるい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、寒気、体がだるい

【この薬の形は？】

形状	楕円形のフィルムコーティング錠		
	 表面	 裏面	 側面
長径×短径	19 mm×9 mm		
厚さ	7 mm		
重さ	1030 mg		
色	帯黄橙色～帯黄褐色		
識別コード	J N J 2 0 0		

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	イコトロキンラ塩酸塩
添加剤	軽質無水ケイ酸、ケイ酸処理結晶セルロース、クロスポビドン、ステアリン酸マグネシウム、ポリビニルアルコール・ポリエチレングリコール・グラフトコポリマー、タルク、酸化チタン、グリセリン脂肪酸エステル、ポリビニルアルコール（部分けん化物）、黄色三酸化鉄

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・錠剤は吸湿性がありますので、シートから取り出さずに保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ヤンセンファーマ株式会社

(<https://www.jnj.com/innovativemedicine/japan/>)

メディカルインフォメーションセンター

電話（フリーダイヤル）：0120-183-279